

平成27年度 第1回地区別計画推進懇談会報告

1. 日時 平成27年7月9日（木） 午後2時～4時
2. 場所 瀬谷区役所5階 大会議室
3. 参加者 113名（地域73名、その他40名）
4. 内容

「各地区の地区別計画策定の取組状況、計画の柱立てについて」

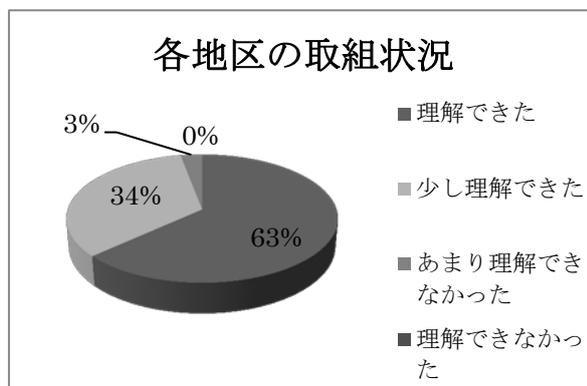
説明 瀬谷区福祉保健センター福祉保健課長 藤澤 智明
瀬谷区社会福祉協議会事務局長 小清水 経仁

- (1) 「地域福祉保健計画『地区別計画』」について（説明者 藤澤課長）
 - (2) 各地区の取組状況について（説明者 小清水局長）
 - (3) 各地区の地区別計画の柱立てについて（説明者 小清水局長）
- ※各地区の特徴的な計画の柱について、各地区の方より補足説明。

5. アンケート集計結果 参加者73名 回答者68名

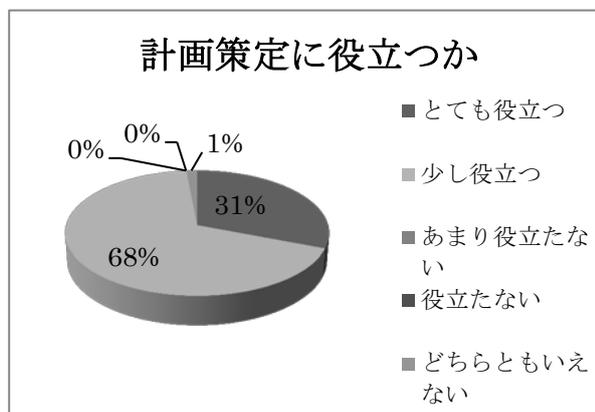
【質問1】各地区の取組状況について、理解できましたか？

①理解できた	43名
②少し理解できた	23名
③あまり理解できなかった	2名
④理解できなかった	0名



【質問2】懇談会の内容は、今後の計画策定に向けて役立てることができますか？

①とても役立てることができる	21名
②少し役立てることができる	46名
③あまり役立てることができない	0名
④役立てることができない	0名
⑤どちらとも言えない	1名



【質問3】ご意見、ご感想、ご要望、現在の活動で感じていることなど自由記載欄

主要内容（抜粋）

《地域福祉保健計画の策定・推進にあたって》

担い手・予算

- 取り組みたい事は多くあるが、担い手不足等から現実的には難しい状況である。
- 福祉保健計画の推進にあたって、その内容遂行にあたる支援者の確保が必須である。
- 取り組みの組織体制が地区により違いがある。数多くの声を反映すべく努力はしているが予算や人的不足等で活動がなかなか広がらない。

計画策定・推進

- 各地区計画策定と取り組み状況の紹介について、かかげた施策の活動に差が生じない様、また各連合が活動の停滞をしない様に区役所、地区社会福祉協議会による指導を要望したい。
- 「地区別計画策定・推進にあたって」はとても良く出来ていた。私共もこれに添って策定させて頂いた。
- 第2期より支援チームも加わってとてもやりやすい。第2期の時は地区社協だけで考えていたが、今回は連合も加わり協働という言葉がよくあてはまると思った。他の地区のように、ボランティア団体や障害者施設、学校、幼稚園、保育園なども一度意見交換をしたいと思った。
- 地区の特色から力点がばらける結果、区としての突破力が弱いのではないかと思った。
- この計画を作る人に高齢者が多い為か、高齢者に関する問題に焦点が当たりすぎ、若者・現役世代に有効か少し心配。

具体的な取り組み

- 宮沢の公園の名前を付けることについて、良いと思った。
- どこの地域でも、かなり見守りに力を入れているように思われ、安心して生活できるかなと思った。
- まちづくりにはこれで終わりと言う事は無い為、他の地区も第3期計画は第2期計画の積み重ねとなっている事を知ることができて良かった。
- 各地区の共通の課題として、要支援者の増加防止と支援者の増員の検討が不足気味。

《懇談会の感想・要望》

- 各地区が計画策定に真剣に取り組んでいる事を直接聞くことができて大変良かった。今後の具体的な計画に役立てていきたい。これが推進出来た時、きっと良い瀬谷になると思う。
- 地区によるいろいろな思いがあるのだと思う。本日の話だけではわからない点もあったが熱意を感じた。
- 各地区共通した取り組みが多々あった。今後は細部について聞いてみたい。
- 第2期の活動がまだ完成していない状況なので現在のことを進めることの方が精一杯という感じである。
- 懇談会の人数が多いと素直な意見の交換が出来にくいので少人数での相互討論と交流ができるとさらに理解が深まる。

以上